



2006年3月期 (第61期) 中間決算説明

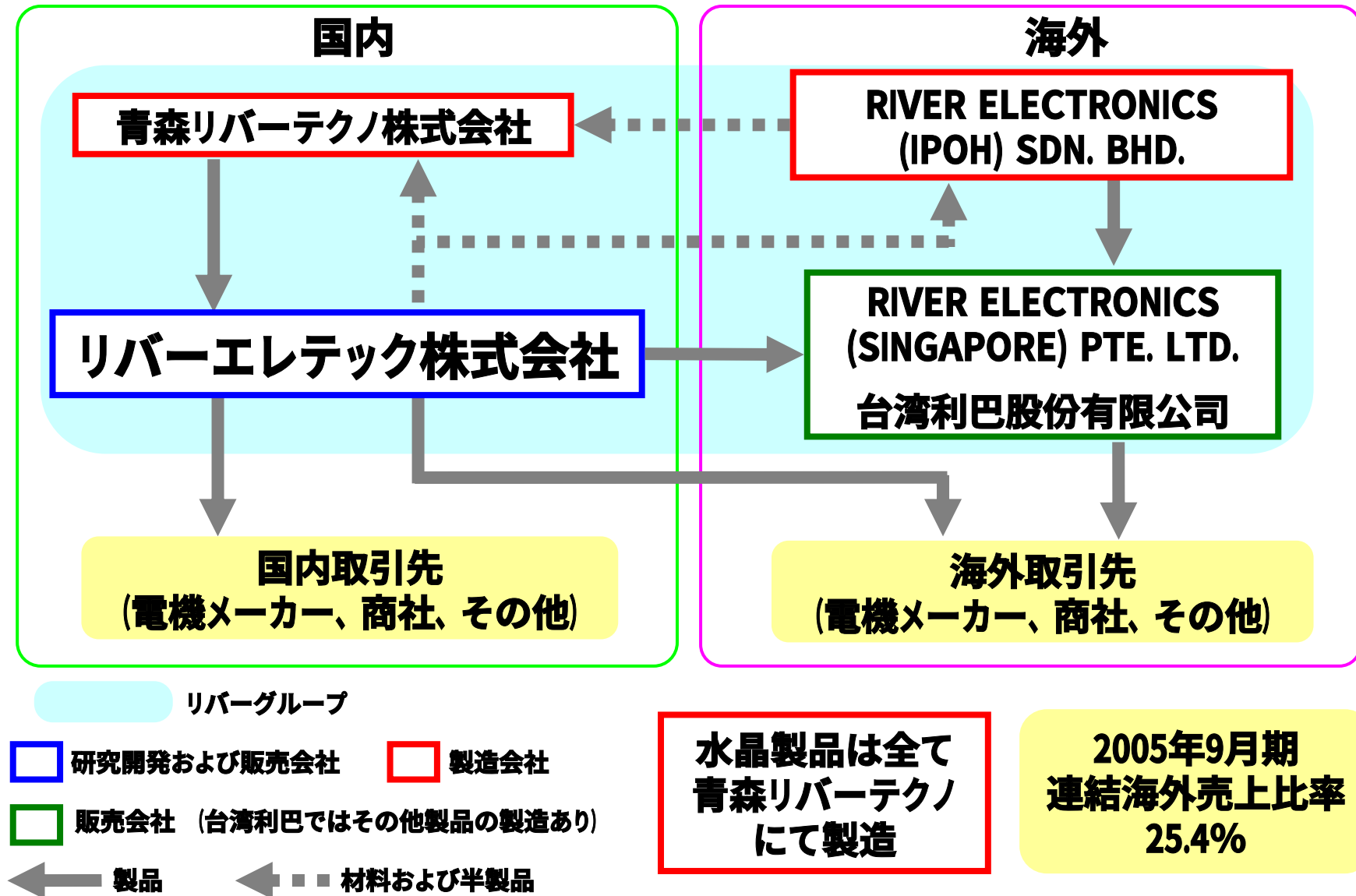
**リバーエレクトック株式会社
(JASDAQ:6666)**

2006年3月期 (第61期) 中間決算概要

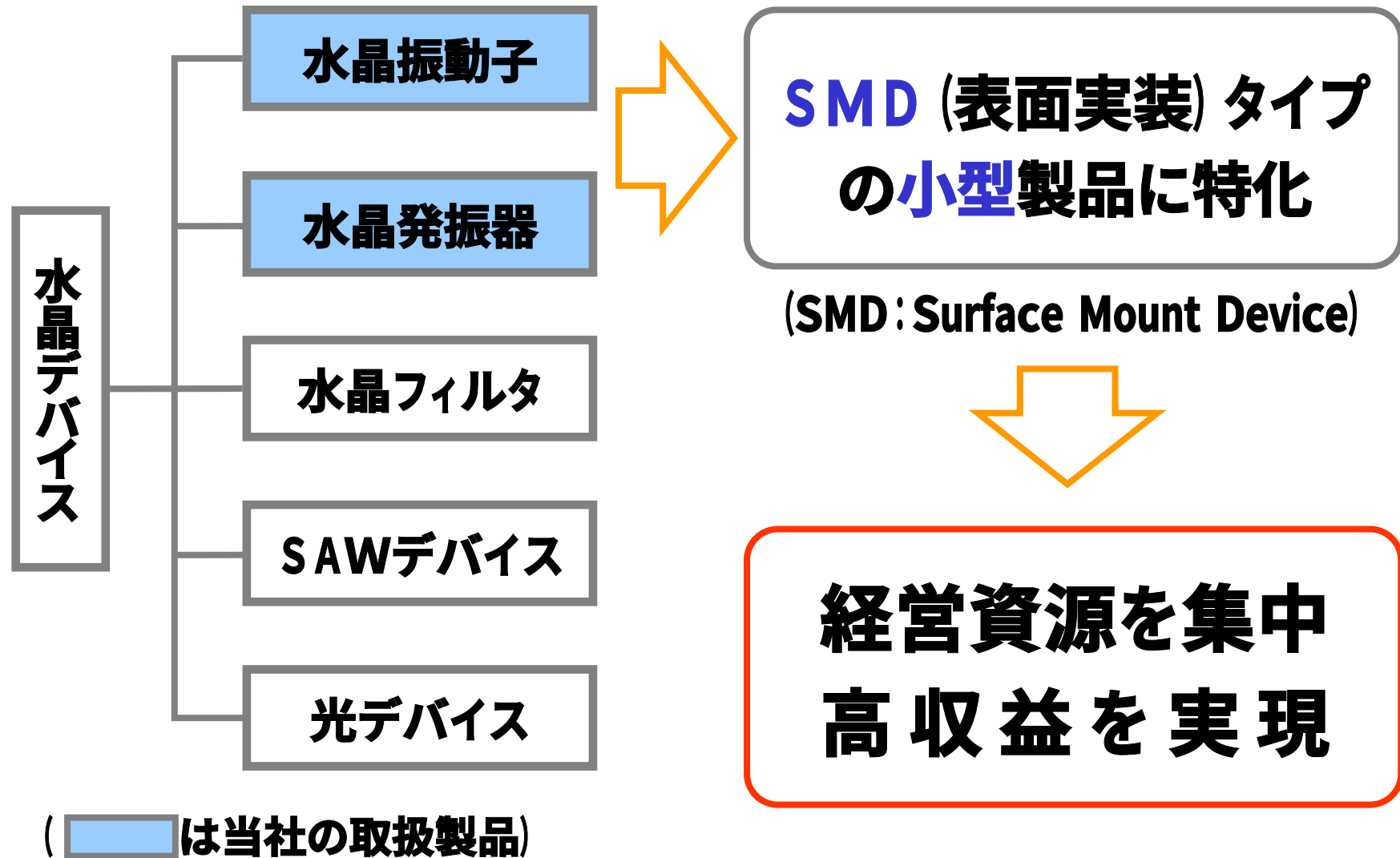
会社概要

■ 社 名	リバーエレテック株式会社
■ 所在地	山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11
■ 設 立	1951年3月9日
■ 事業内容	電子部品の製造販売
■ 資 本 金	1,070百万円
■ 売上高 (連結／単独)	7,525百万円／6,983百万円 (2005年3月期実績)
■ 経常利益 (連結／単独)	576百万円／623百万円 (2005年3月期実績)
■ 従業員 (連結／単独)	853人／120人 (2005年9月末現在)
■ グループ会社	青森リバーテクノ株式会社 RIVER ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE.LTD. RIVER ELECTRONICS (IPOH) SDN.BHD. 台湾利巴股份有限公司

リバーグループ関連図



水晶デバイスの種類と当社取扱品



2006年3月期中間決算のトピックス

**売上は前年同期比で微減少 (2.6%減) ながら、
利益は前年同期比で大幅減少 (経常利益72.4%減)
4百万円の間純損失を計上**



主要因

- プロダクトミックスの変化 (水晶製品の構成比)
- 競争激化による販売単価の下落
- 生産体制の強化に伴う人件費の増加
- 減損会計の適用による特別損失 (56百万円)

比較損益計算書

(百万円)

	05/3中間 (前年同期)	06/3中間 (当初計画)	06/3中間 (当期実績)	対前年 同期比	対当初 計画比	増減の主要因
売 上 高	3,850	3,562	3,750	-2.6%	+5.3%	水晶製品販売数量増加 (前年同期比30%増) LCBの前期売上分をカバー
売上総利益 [売上総利益率]	1,102 28.6%	922 25.9%	861 23.0%	-21.8%	-6.5%	プロダクトミックスの変化 水晶製品販売単価前年 同期比12%減
営 業 利 益 [営業利益率]	293 7.6%	150 4.2%	30 0.8%	-89.6%	-79.7%	前年同期比販売管理費 22百万円増 (2.8%増)
経 常 利 益 [経常利益率]	323 8.4%	190 5.3%	89 2.4%	-72.4%	-53.2%	水晶製品材料屑売却益 63百万円発生
中間純利益 [中間純利益率]	194 5.0%	103 2.9%	△4 △0.1%	—	—	特別損失56百万円、減損 会計を青森子会社に適用

比較貸借対照表

(百万円)

	05/3 (前期末)	06/3中間 (当期実績)	前期末比 増減	増減の主要因
流動資産	5,593	5,274	-319	現金及び預金 (-545百万円)
固定資産	5,930	6,615	+685	機械装置 (+323百万円) 建設仮勘定 (+724百万円、生産設備)
繰延資産	10	7	-2	
資産合計	11,534	11,897	+363	
流動負債	3,153	3,709	+556	設備関係支払手形 (+433百万円、生産設備)
固定負債	645	562	-83	長期借入金 (-55百万円)
負債合計	3,799	4,272	+472	
少数株主持分	284	296	+11	
資本金	1,070	1,070	±0	
資本剰余金	957	957	±0	
利益剰余金	5,633	5,476	-157	
その他有価証券評価差額金	27	22	-4	
為替換算調整勘定	△238	△197	+40	
資本合計	7,450	7,329	-121	
負債・資本合計	11,534	11,897	+363	

セグメント別比較

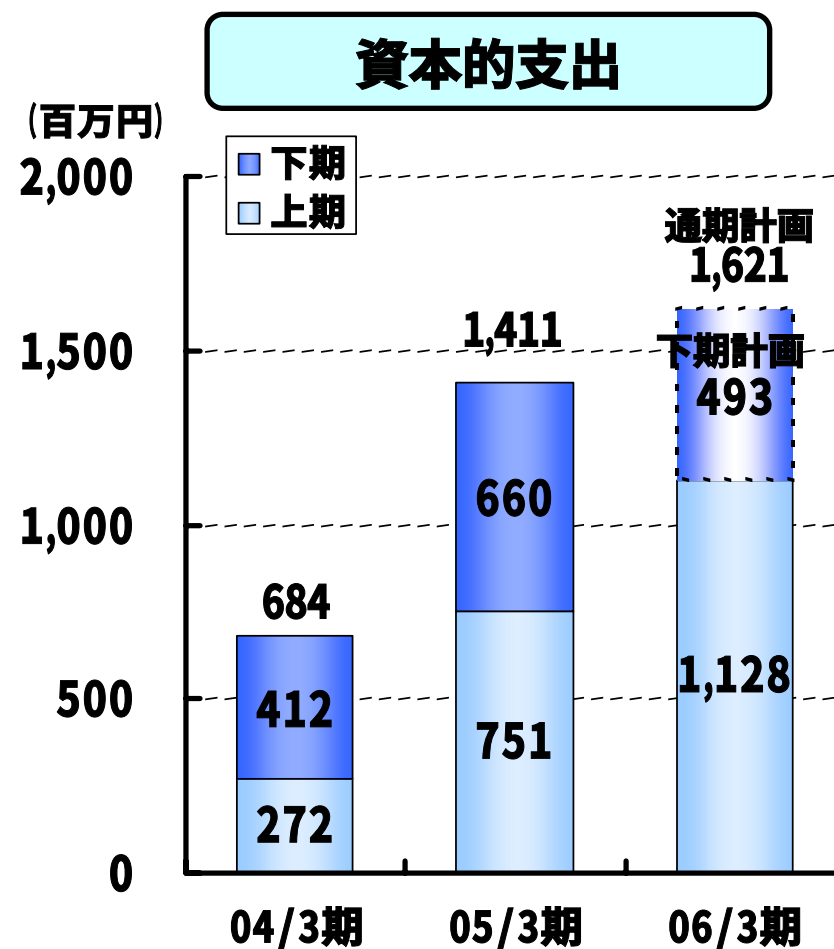
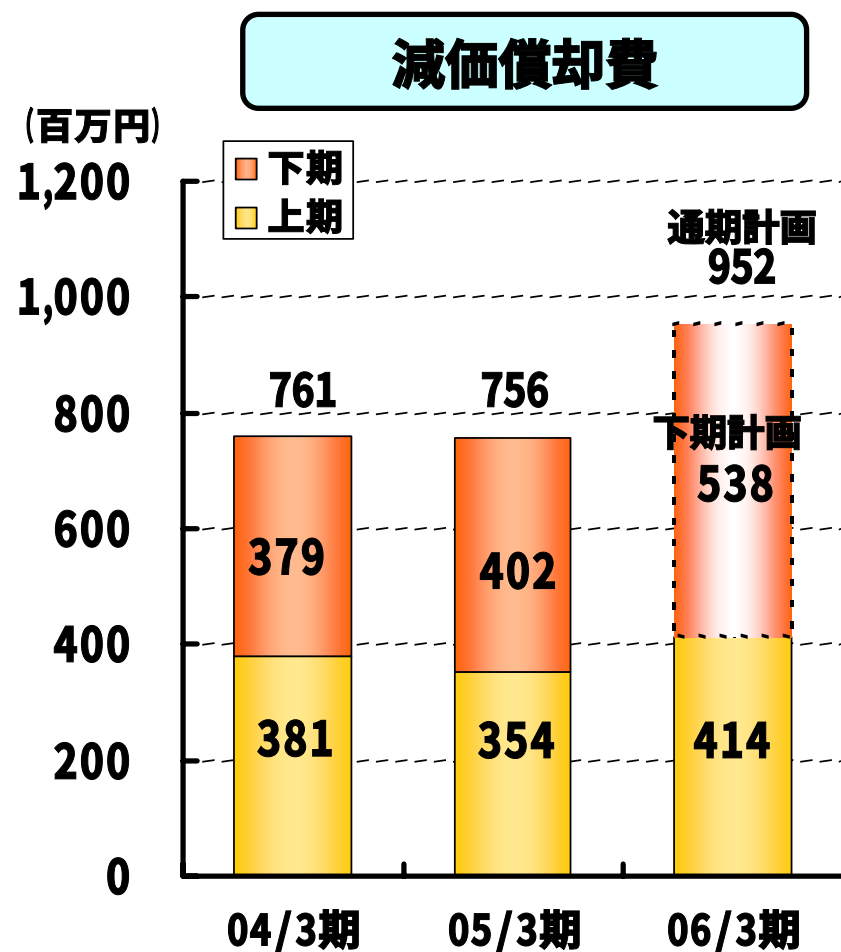
**水晶製品はプロダクトミックス変化と売価下落により利益減
抵抗器・インダクタは数量の減少が要因で売上・利益減**

(百万円)

部 門	05/3中間 (前年同期)			06/3中間 (当期実績)			対前年同期 増減率	
	売上高	売上 総利益	売上 総利益率	売上高	売上 総利益	売上 総利益率	売上高	売上 総利益
水 晶 製 品	3,032	907	29.9%	3,449	758	22.0%	+13.8%	-16.4%
抵 抗 器	239	108	45.2%	165	58	35.5%	-30.9%	-45.7%
イ ン ダ ク タ	124	39	32.2%	86	25	29.2%	-30.5%	-37.0%
リチウムコイン電池	391	35	9.2%	—	—	— %	—	—
そ の 他	62	11	17.8%	48	19	40.6%	-22.3%	+78.0%
合 計	3,850	1,102	28.6%	3,750	861	23.0%	-2.6%	-21.8%

設備投資と減価償却費

水晶製品増産に向け設備増強を行い資本的支出大幅増



2006年3月期の見通し および今後の戦略

経営ビジョン

経営理念

源流 創価 革新

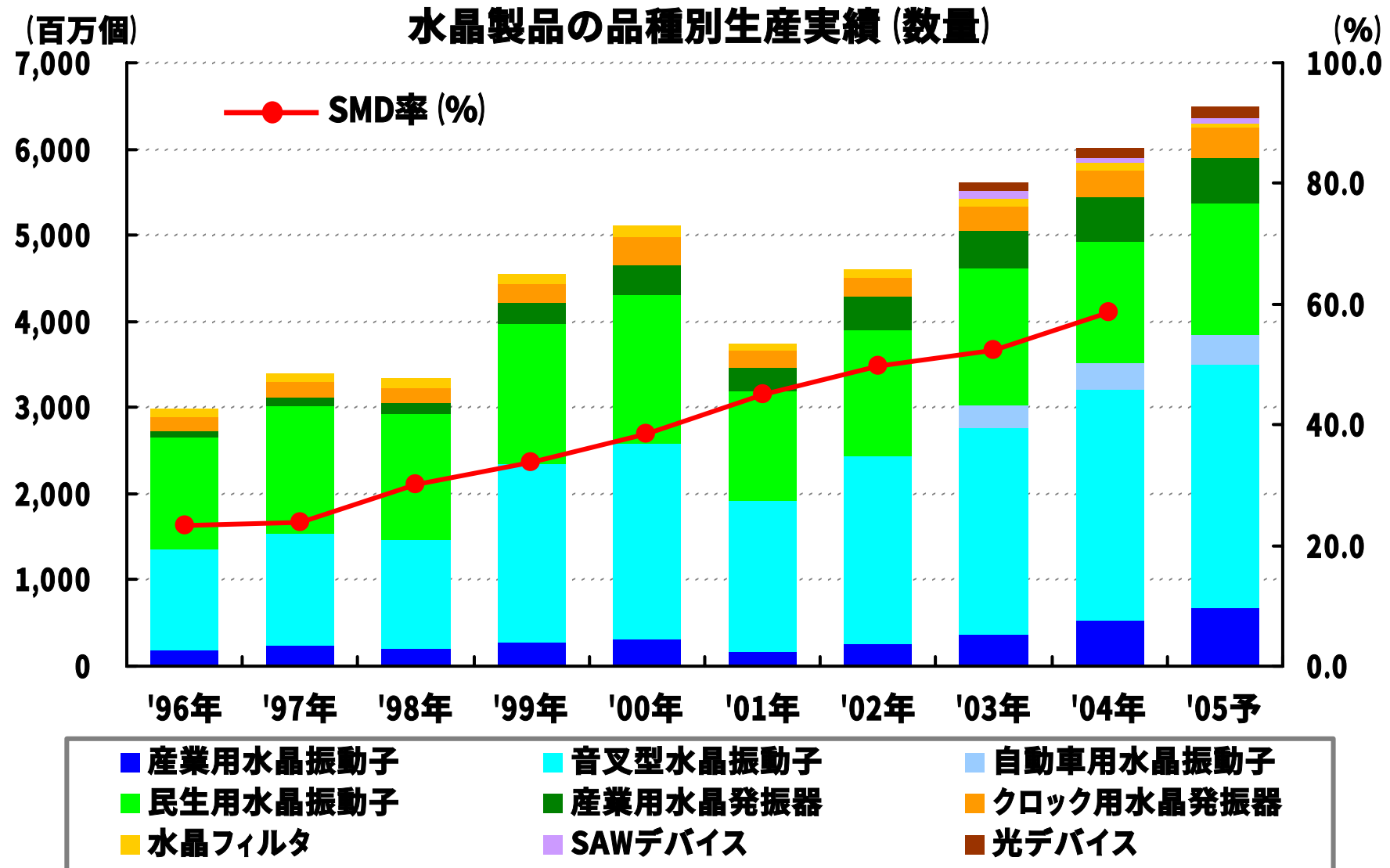


- ◆ 顧客満足と信頼の獲得
- ◆ 独創的発想による価値の創造
- ◆ 事業改革による成長



『高付加価値企業』の実現へ

水晶デバイス業界の実績と見通し



(注) 日本水晶デバイス工業界資料より。自動車用水晶振動子は2002年度まで民生用水晶振動子に含まれる
OUT-OUT品は含まず

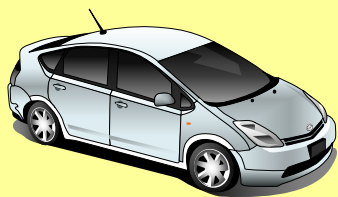
水晶デバイスの市場における特徴

電子機器のデジタル化
が進むと、
使用数量が増加する

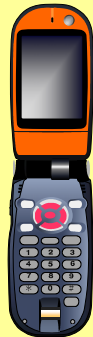
電子機器の付加機能
が増えると、
使用数量が増加する

相乗効果

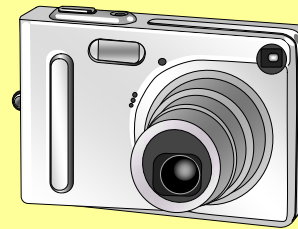
● 注力分野



カーエレクトロニクス



携帯電話



デジタル
スチルカメラ



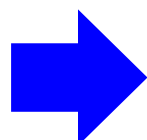
デジタルTV
チューナー

無線モジュール

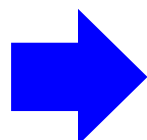
医療機器

下期の課題

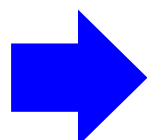
- **拡大市場への販売展開促進**

-  **無線モジュール、カーエレクトロニクス向け**

- **高付加価値製品販売力強化、プロダクトミックス改善**

-  **小型水晶製品の販売数量増加**

- **価格競争激化に向けたコスト削減**

-  **製造部門の固定費削減、設備生産能力の向上**

2006年3月期通期業績予想

当初計画を下方修正。売上高は前年並み・計画レベルも利益は減少、しかし当期純利益は144百万円を確保

※計画為替レート 1\$=\105.00

(百万円)

	05/3 実績	06/3 当初計画	06/3 修正計画	対05/3実績比		対当初計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	7,525	7,788	7,615	+90	+1.2%	-173	-2.2%
売上総利益	2,060	2,085	1,702	-358	-17.4%	-382	-18.3%
[売上総利益率]	27.4%	26.8%	22.4%				
営業利益	523	557	124	-398	-76.2%	-433	-77.7%
[営業利益率]	7.0%	7.2%	1.6%				
経常利益	576	657	271	-304	-52.9	-386	-58.8%
[経常利益率]	7.7%	8.4%	3.6%				
当期純利益	329	363	144	-185	-56.3	-219	-60.4%
[当期純利益率]	4.4%	4.7%	1.9%				
EPS (円)	45.03	48.52	19.23				

セグメント別売上高・売上総利益予測

水晶製品売上高は前年比17%増、リチウムコイン電池をカバー
水晶製品の利益は回復せず売上総利益率やや下落

(百万円)

部 門	05/3実績			06/3当初計画			06/3修正計画		
	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率
水 晶 製 品	5,976	1,698	28.4%	7,100	1,854	26.1%	7,014	1,504	21.4%
抵 抗 器	471	212	45.1%	381	145	38.2%	328	108	33.0%
イ ン ダ ク タ	233	72	31.0%	200	73	36.9%	168	50	29.8%
リチウムコイン電池	738	58	7.9%	—	—	—	—	—	—
そ の 他	106	19	18.0%	106	10	10.2%	103	39	38.4%
合 計	7,525	2,060	27.4%	7,788	2,085	26.8%	7,615	1,702	22.4%

当資料取り扱い上のご注意

本資料に記載されている、当社の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。

実際の業績はさまざまな要因により、これらの見通しとは大きく異なることがあります。

実際の業績などへの影響に与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、当社製品に対する需要動向、為替、株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。